

瞬間

樺まり

向かい合う席の私の目は泳いで
なめらかでない言葉の出だしを恥じていた
「待つよ」と言っていてあなたはグラスを見つめうつむく
私ははたとあなたを見る
くくくくくるしいははははじめての恋の記憶